

令和7年度 県立八鹿高等学校 学校関係者評価表

領域	項目	R7 目標	令和7年度 学校関係者評価 (4, 3, 2, 1)	令和7年度 学校職員による 内部評価 (4, 3, 2, 1)	令和6年度 学校職員による 内部評価 (4, 3, 2, 1)	令和7年度 学校関係者評価 意見記述欄
学校経営	広報	本校の魅力を積極的に発信し、地域・保護者からの理解と信頼を深める。	3.4	3.3	3.1	・八高学びの祭典に参加させていただき、「探究」に向けてカリキュラムや学びの変革が行われつつあることを実感した。保護者や中学生への情報発信の要である八高日よりやHP等でも、さらに広報していただき魅力の発信をしていただきたい。
	ビジョン	文理探究科の魅力、普通科の魅力をいっそう明確にし、今後の確固たる学校像を示す。	3.3	3.1	3.1	・文理探究科の特色化を進め、魅力をもっとPRしなければ、コースから科に改編した意味がない。
学習指導	学力向上	ICTの効果的な活用による「分かる授業」の実践と学力の向上を図る。	3.4	3.2	3.1	・小中学校ではほぼ毎日タブレット端末を活用しており、情報活用能力が高まってきている。授業においても探究型の学びを推進してきている。そのような流れを受けて、高等学校においても、授業変革、ICTの生徒自身の積極活用を期待したい。
	探究活動	探究的な活動を全校全教科に拡げ、生徒の主体的で探究的な学びを習慣化する。	3.6	3.4	2.9	・八問探究、高校生そうあん塾にかかわらせていただいた。また、学校職員へのアンケートをお受けした。探究活動、生徒の自主性を尊重とはいえ、指導するにあたり、課題設定とゴール設定を明確にしたい。 ・連携のあり方を、共に考えていきたいです。 ・探究をすることが目的ではなく、探究を通してどのような力をつけるのかを指導者が常に意識すべき。 ・教員研修をしっかりとやる。卒業生（大学生）をもっと活用してみようか。 ・内部評価のR6からR7年度の変化から取り組みの成果が見られる。
生徒指導	学校生活	いじめの未然防止と早期発見、早期対応とともに、規範意識の向上とマナーの定着を図る。	3.3	3.2	3.3	・登下校時に会おうとさわやかにあいさつしてくれる。
	特別活動	生徒の主体性を引き出す行事運営を推進する。	3.6	3.3	3.0	
進路指導	キャリア教育	卒業後自分らしい生き方を実現するために3年間を見通した体系的かつ組織的なキャリア教育を推進する。	3.7	3.3	3.1	
	進路実現	個々の進路の実現に向けてきめ細やかで粘り強い指導を実践する。	3.7	3.5	3.1	・学年団や教員個々の指導力に依存せず、学校として3年間を通した系統的で一貫性のある指導体制の確立を。
学びを支える環境	健康	健康危機管理（感染症・熱中症の未然防止と発生時の迅速かつ適切な対応）体制を確立する。	3.9	3.5	3.4	
	生徒支援	様々な困難や悩みを抱える生徒に寄り添い、相談・支援体制の充実を図る。	3.7	3.5	3.2	